

「2017日本ラグビー学会第10回大会」

発育発達 : 子どもの育成について



生駒少年ラグビークラブ

桑田 大輔

yuui@m5.kcn.ne.jp

担当している少年サッカー・ラグビーの子ども達……

生駒少年ラグビークラブ

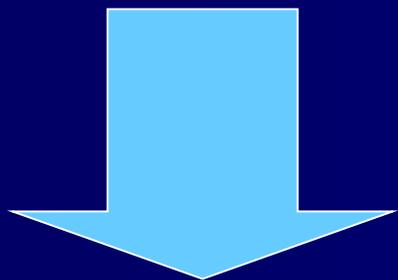


しゅんのすけ君 IN 天理



部員名簿の生年月日を眺めていて……

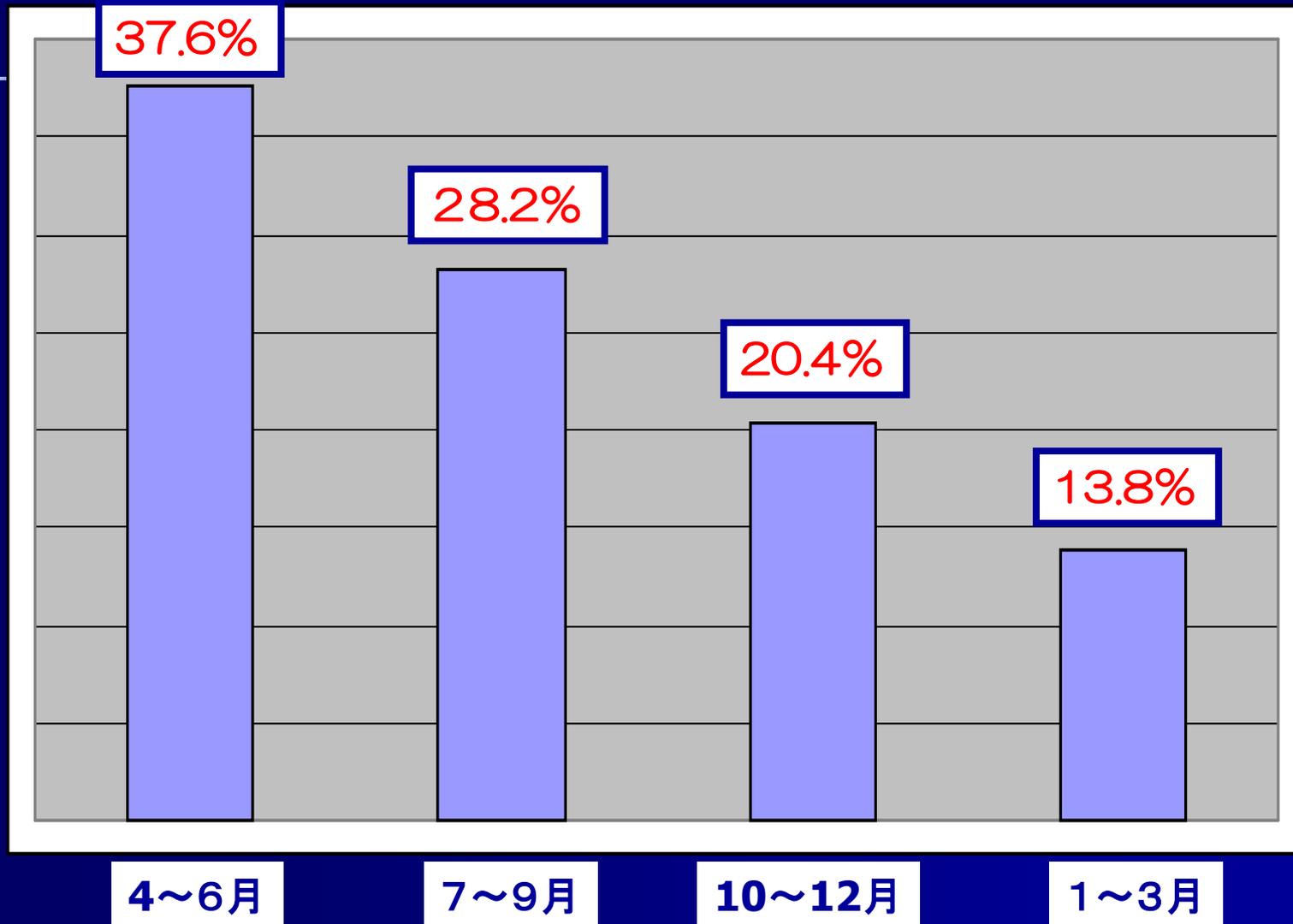
- 4歳児(3月生まれ)と5歳児(4月生まれ)では、
生まれてからの最大時間差が**25%**
- 精神的にも、身体的にも相当な差異がある



今の指導で問題ないの？

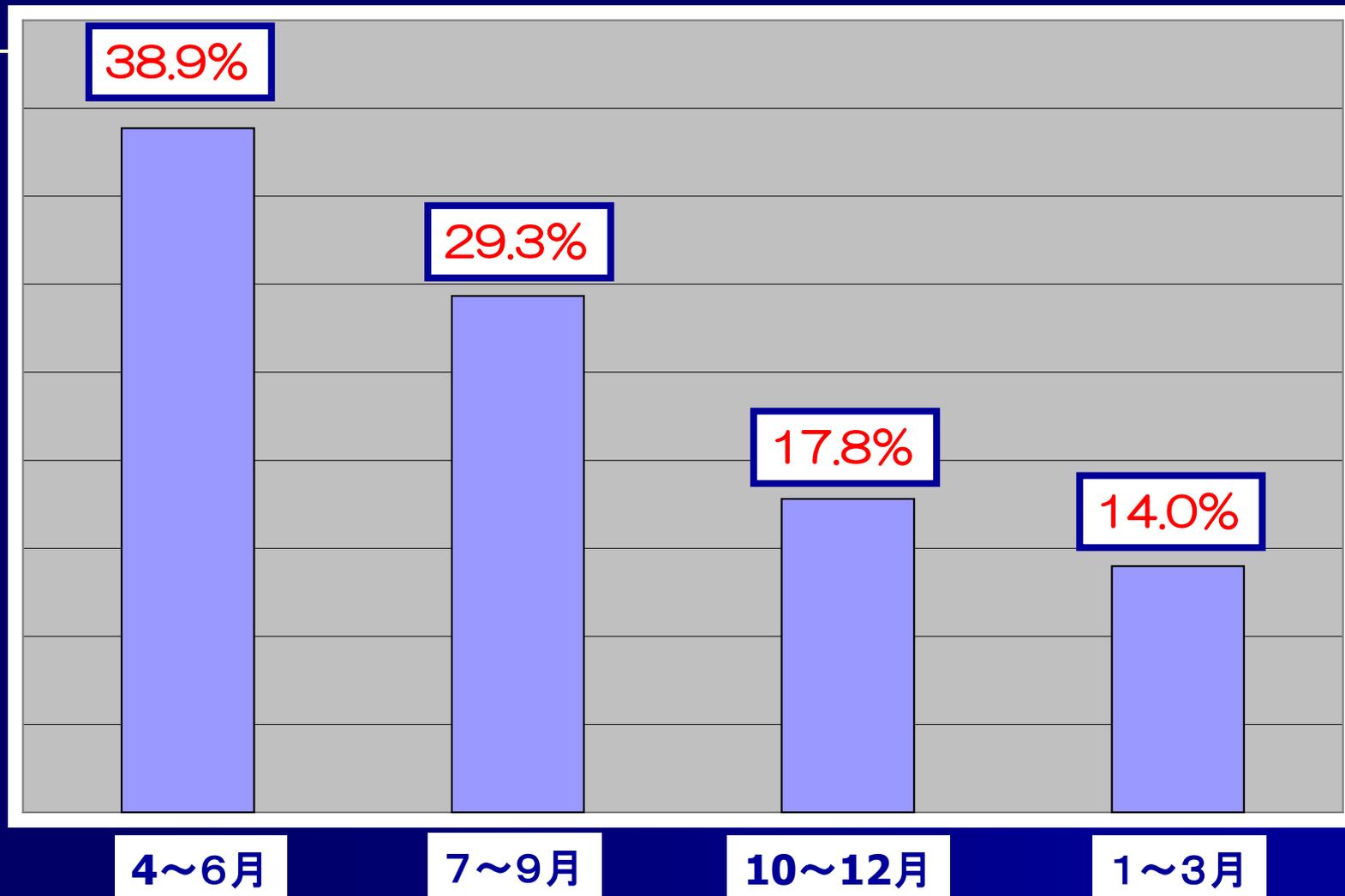
- 上記の事象が、精神的にトップアスリートにどう影響するか？
各競技団体のトップアスリートの生まれ月を調査

‘05プロ野球 765人
(外国人選手を除く、人口動態統計、日数割合)

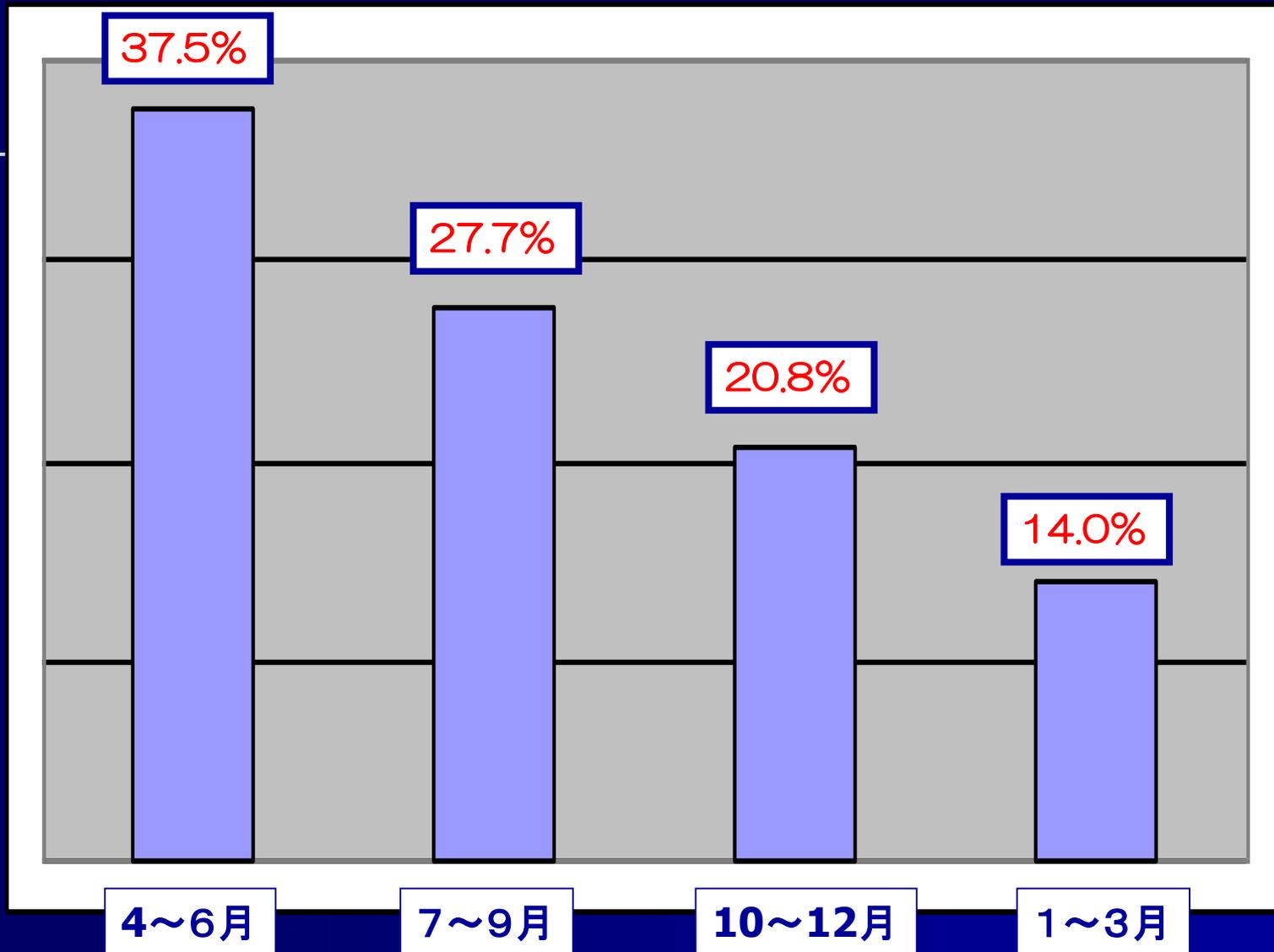


サッカー '05Jリーグ 530人

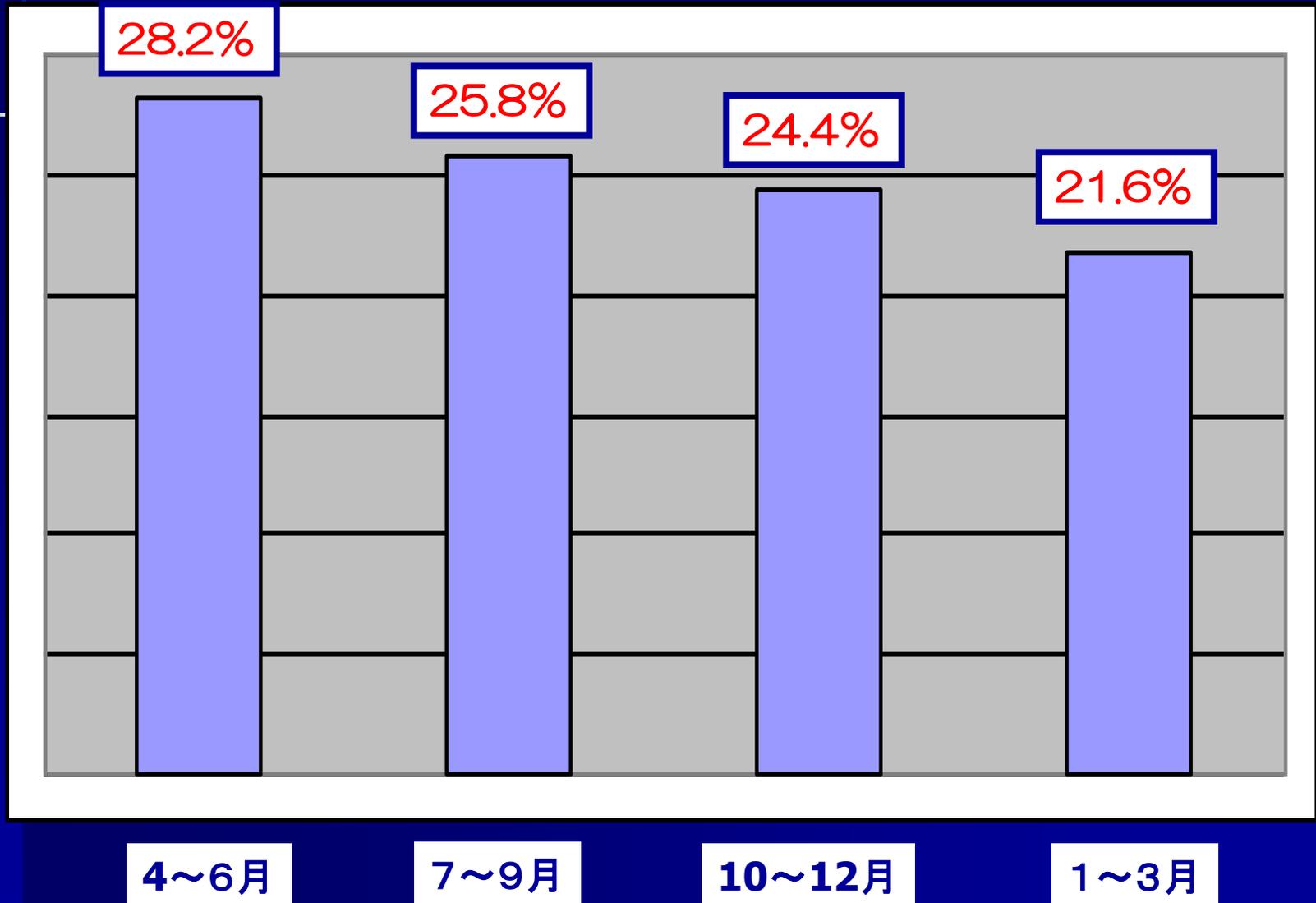
柔道男子
バスケットボール男子



灘中学全校生徒 541人(関西テレビ 平成18年1月27日放映)



京都大学法学部 合格者数 333人(関西テレビ 平成18年1月27日放映)



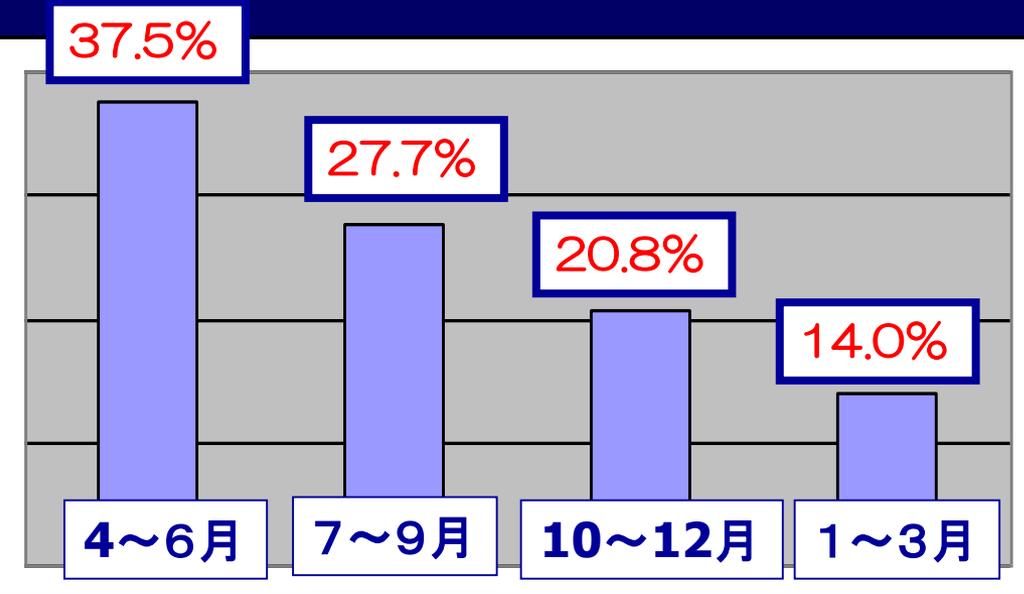
平成20年度 全国体力・運動能力, 運動習慣等 調査結果について 【文部科学省HPより】

②国・公・私立別状況

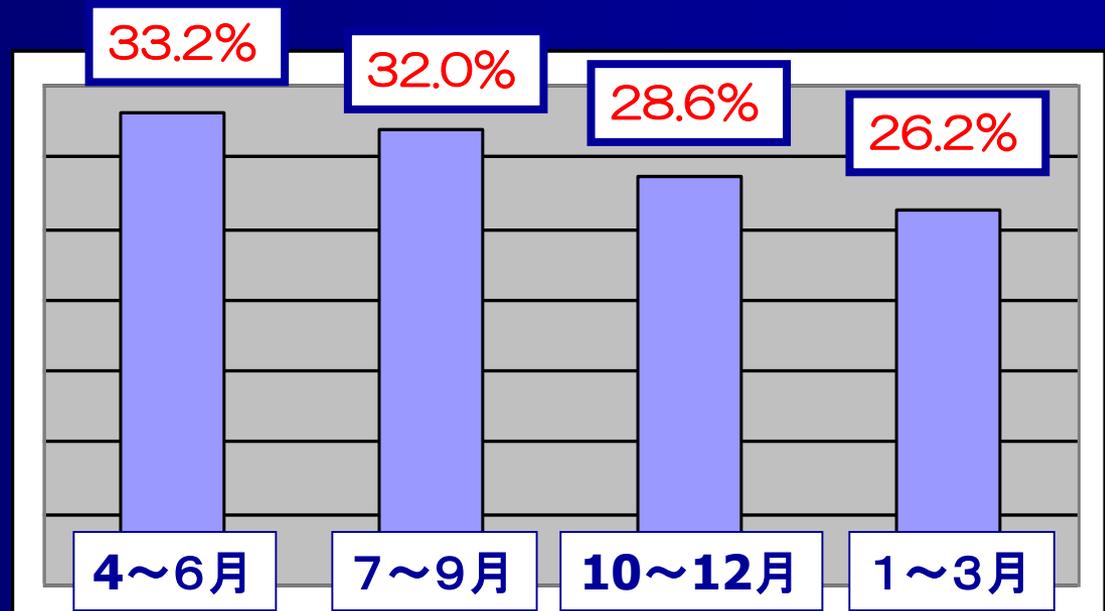
小学5年生		児童数	身長 cm
男子	国立	2577	139.79
	私立	1289	139.19
	公立	394,797	138.93
女子	国立	2628	140.92
	私立	1828	140.31
	公立	378,161	140.19
中学2年生			
男子	国立	4,458	161.15
	私立	12,952	160.74
	公立	377,595	159.95
女子	国立	4,434	155.89
	私立	11,202	155.38
	公立	356,677	155.1

05 灘中学全校生徒 541人 三年間の受験者総数 1761人 (関西TV放送)

月別出生数表

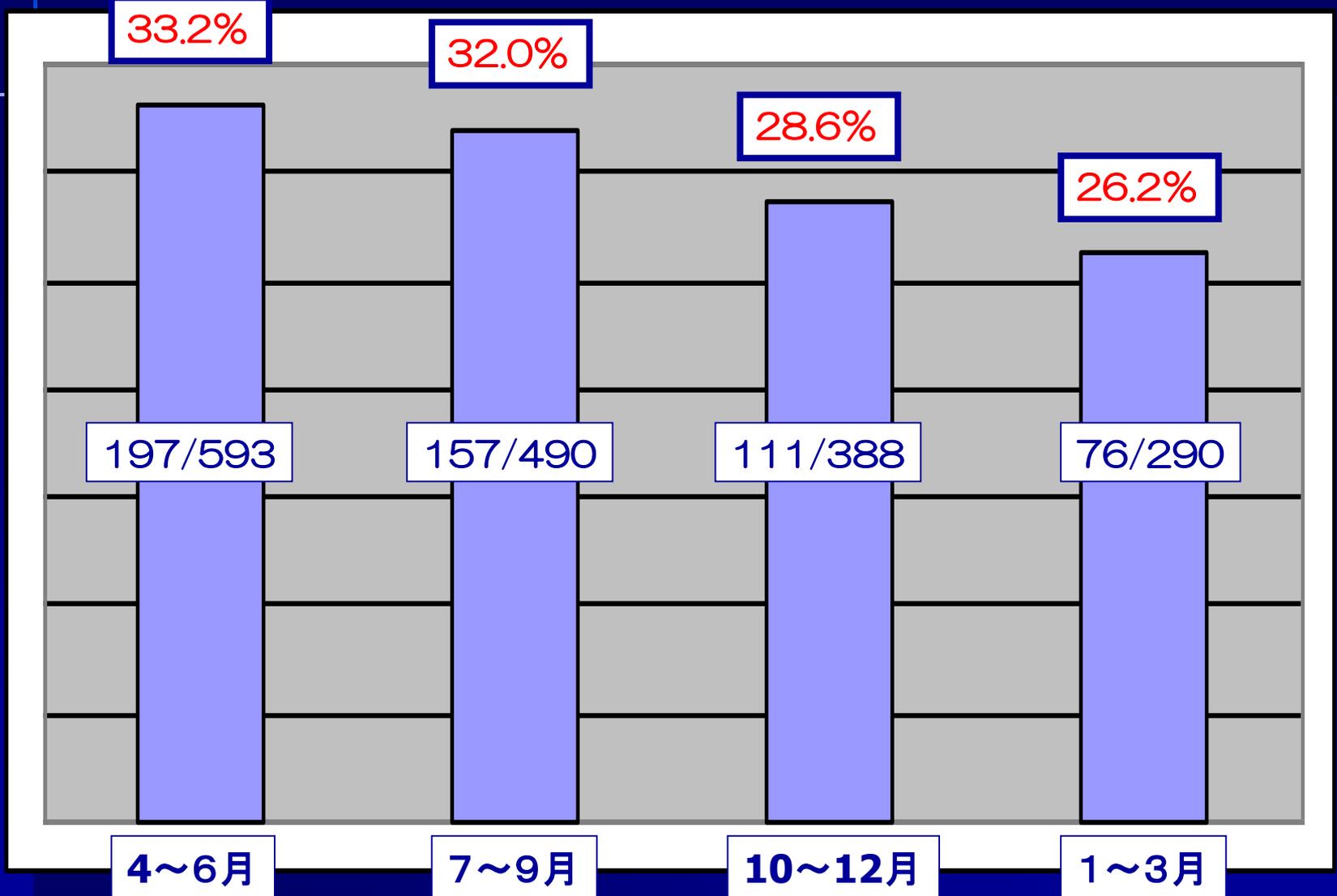


合格率



‘05灘中学全校生徒 541人 三年間の受験者総数 1761人

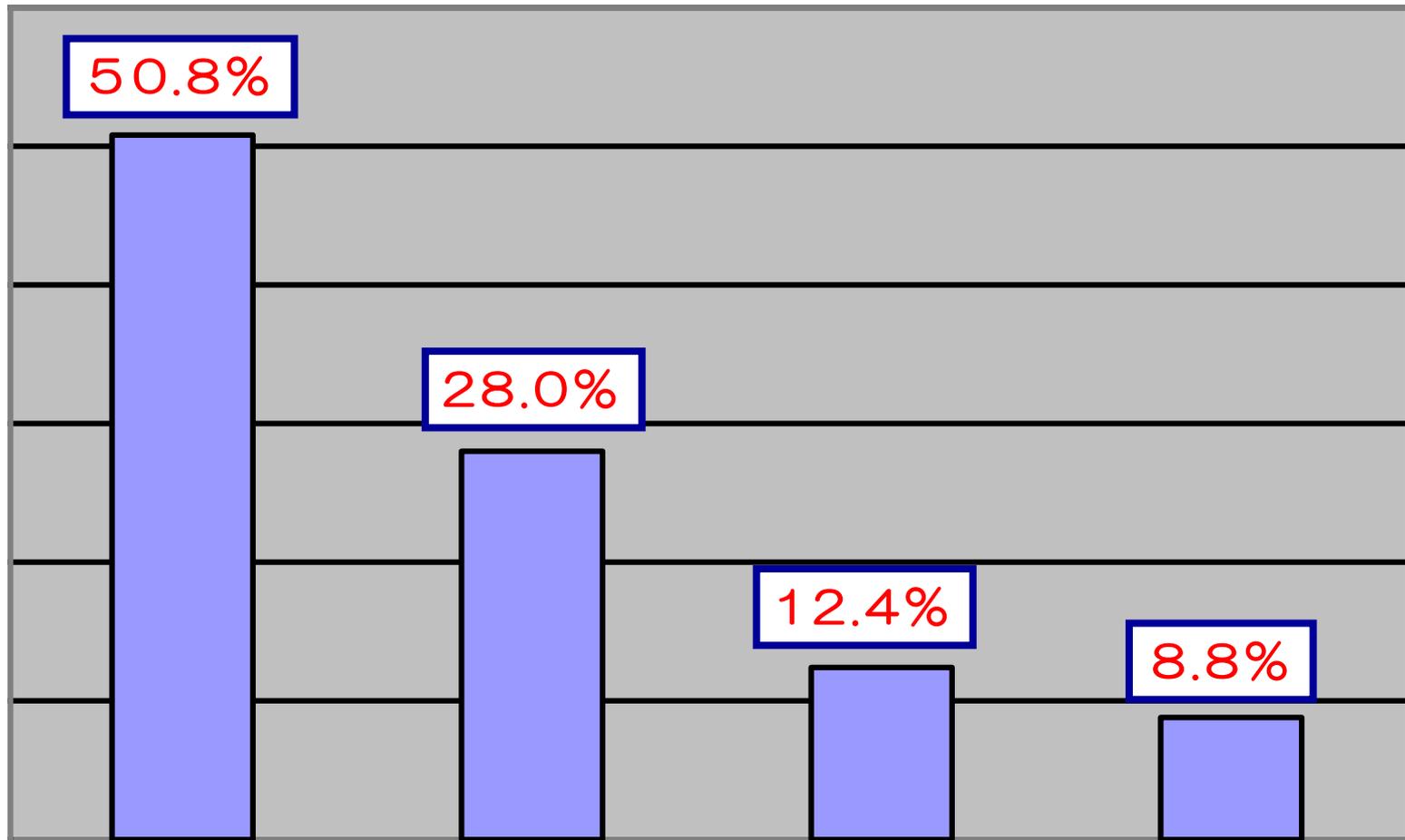
合格率(30.7%) (関西TV放送)



長男 4月24日生まれ(23歳)
次男 5月10日生まれ(20歳)
三男 5月 9日生まれ(18歳)



'05サッカー U-12 611人



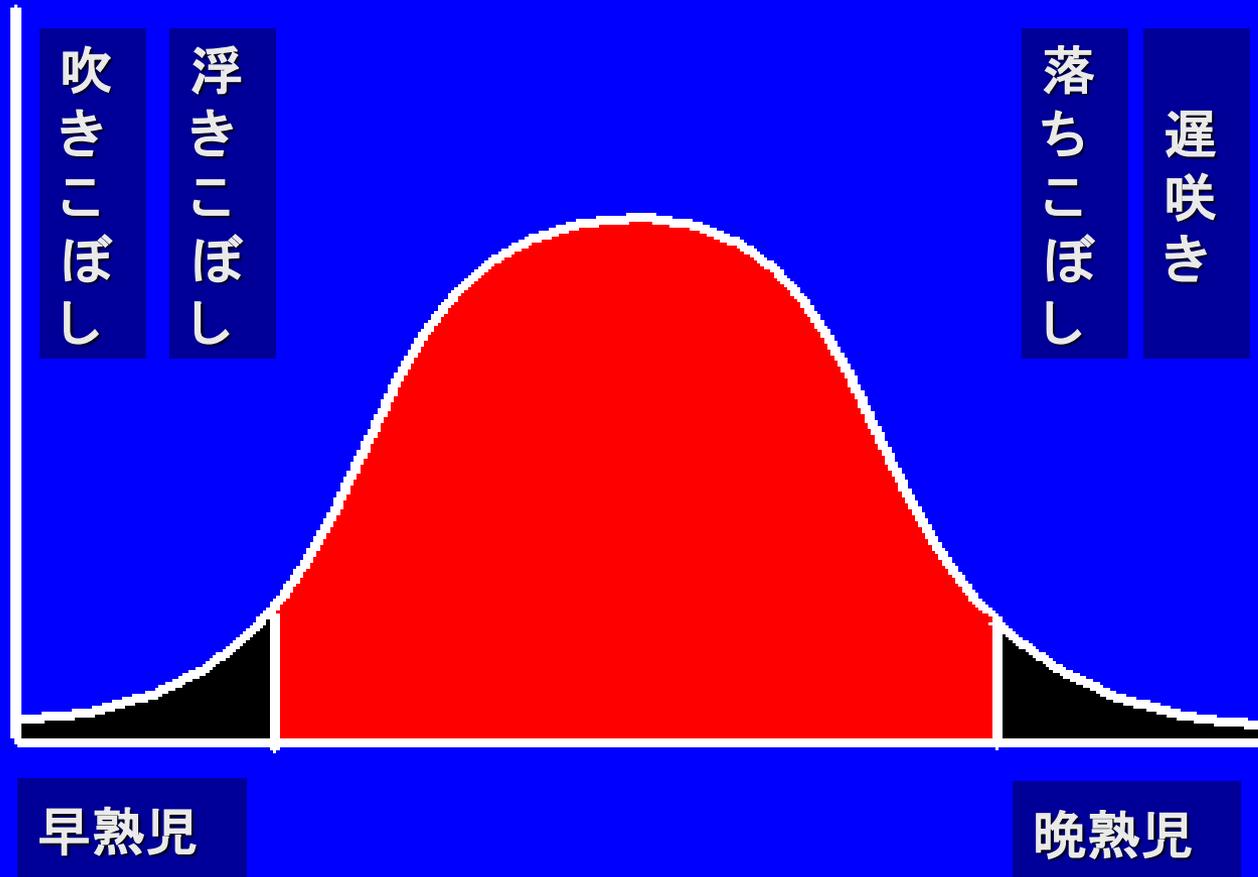
4~6月

7~9月

10~12月

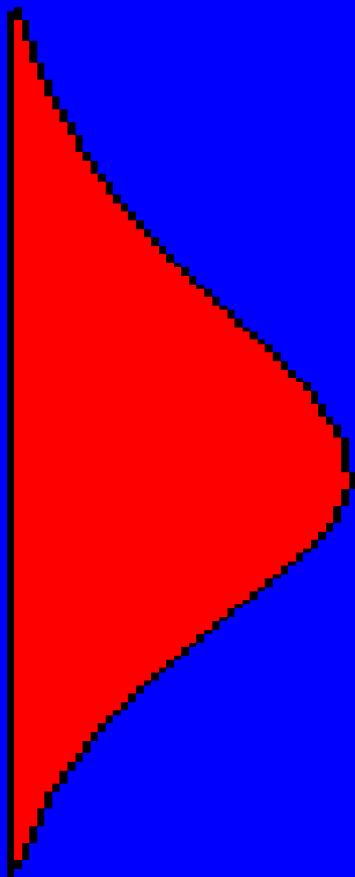
1~3月

子ども達の成長の個人差による格差

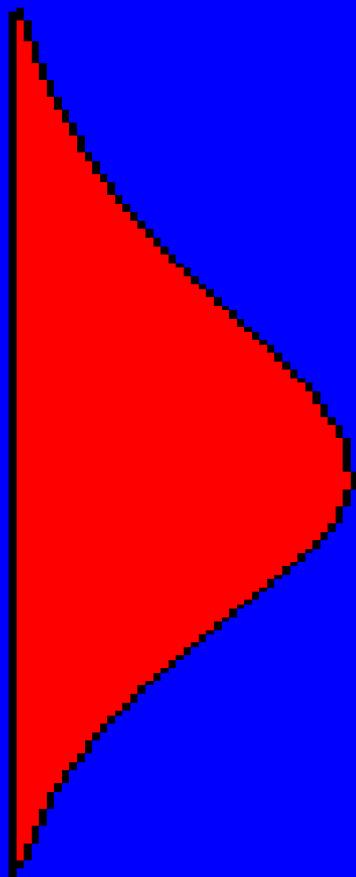


早熟児

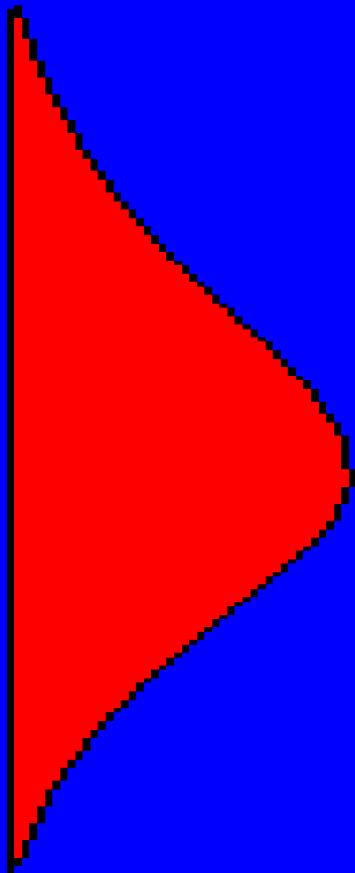
個人の成長差



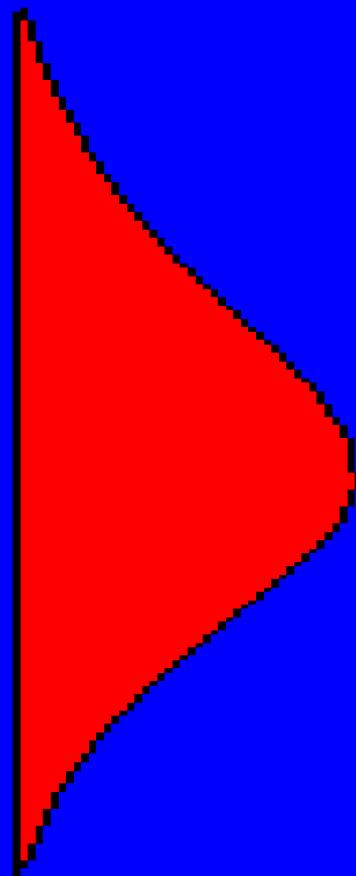
4~6月



7~9月



10~12月



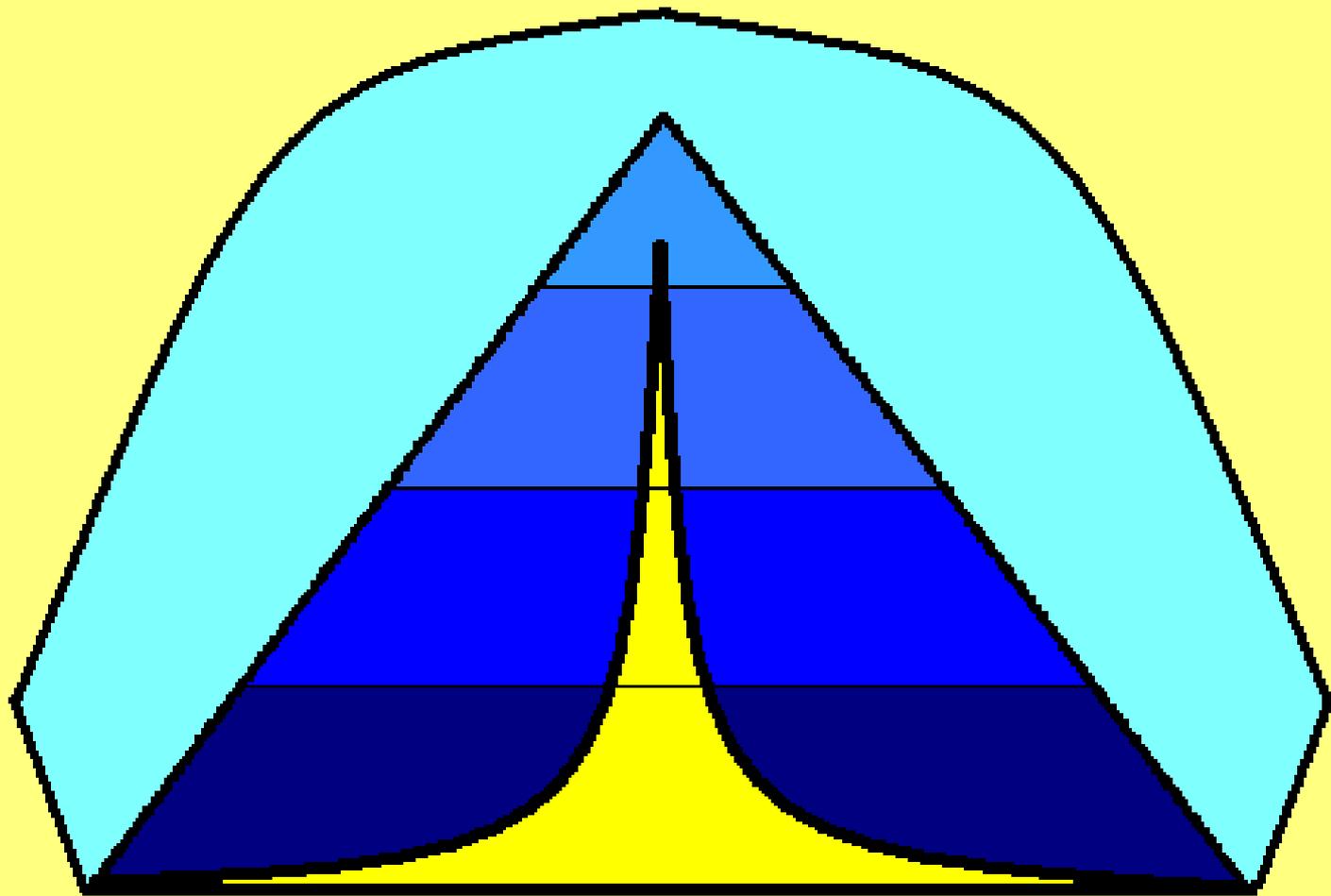
1~3月

晩熟児

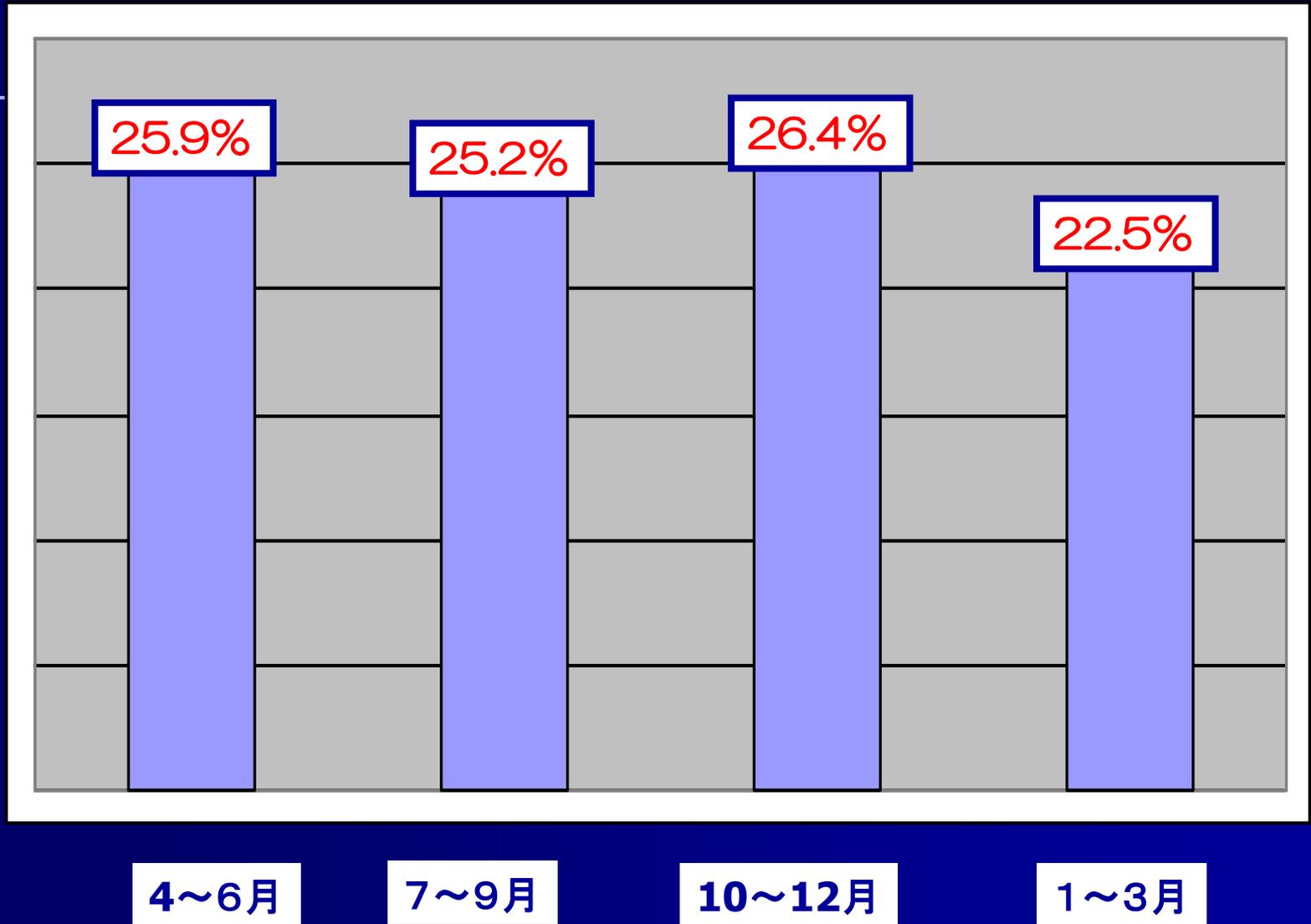
相対的年齢効果のパワーについて

- 子どもの成長差は、約6～7年ある
- Jリーガーは、4～6月生まれ(春生まれ)
1～3月生まれ(早生まれ・冬生まれ)の差異が、約3倍
- 春生まれと早生まれ(9ヶ月の月齢差・成長差) 3:1
子ども達の成長差を、約6年とする
春生まれの早熟児と晩熟児(72ヶ月の成長差)では、24:1
更に、春生まれの早熟児と早生まれの晩熟児では、
上記の割合から、72:1となる

月齢差や成長差によって72倍の差が発生する
Jリーガーが600人いた場合、身体的・精神的に
素質があるJリーガーは、20人以下



‘05ラグビートップリーグ選手 469人



競技人口の推移とトップリーグ(ラグビー)選手の競技開始年齢

	サッカー	ソフトテニス	バドミントン	バスケ男	バスケ女	柔道男	柔道女	ラグビー
小学生	1	1	1	1	1	1	1	1
中学生	1.53倍	23.6倍	4.3倍	4.8倍	3倍	2.1倍	2倍	0.77倍

	ラグビー	ソフトテニス	バドミントン	バスケ女子	剣道男女
小学生以下	200人	男子 69人 女子 65人	女子 53人	140人	男子 116人 女子 101人
中学生	135人	男子 8人 女子 6人	女子 16人	34人	男女共 0人
高校生以降	210人	男女共 0人	女子 0人	3人	男女共 0人

08トップリーグ選手競技開始年齢(日本出生) 545人

小学生以下 200人 中学生 135人 高校生以降 210人
36, 7% 24, 8% 38, 5%

- ラグビーの競技人口は、小学生から、中学生に上がると減る
数少ないスポーツだ！！
これだけ普及しているサッカーでも、**1.53倍**に増加！！

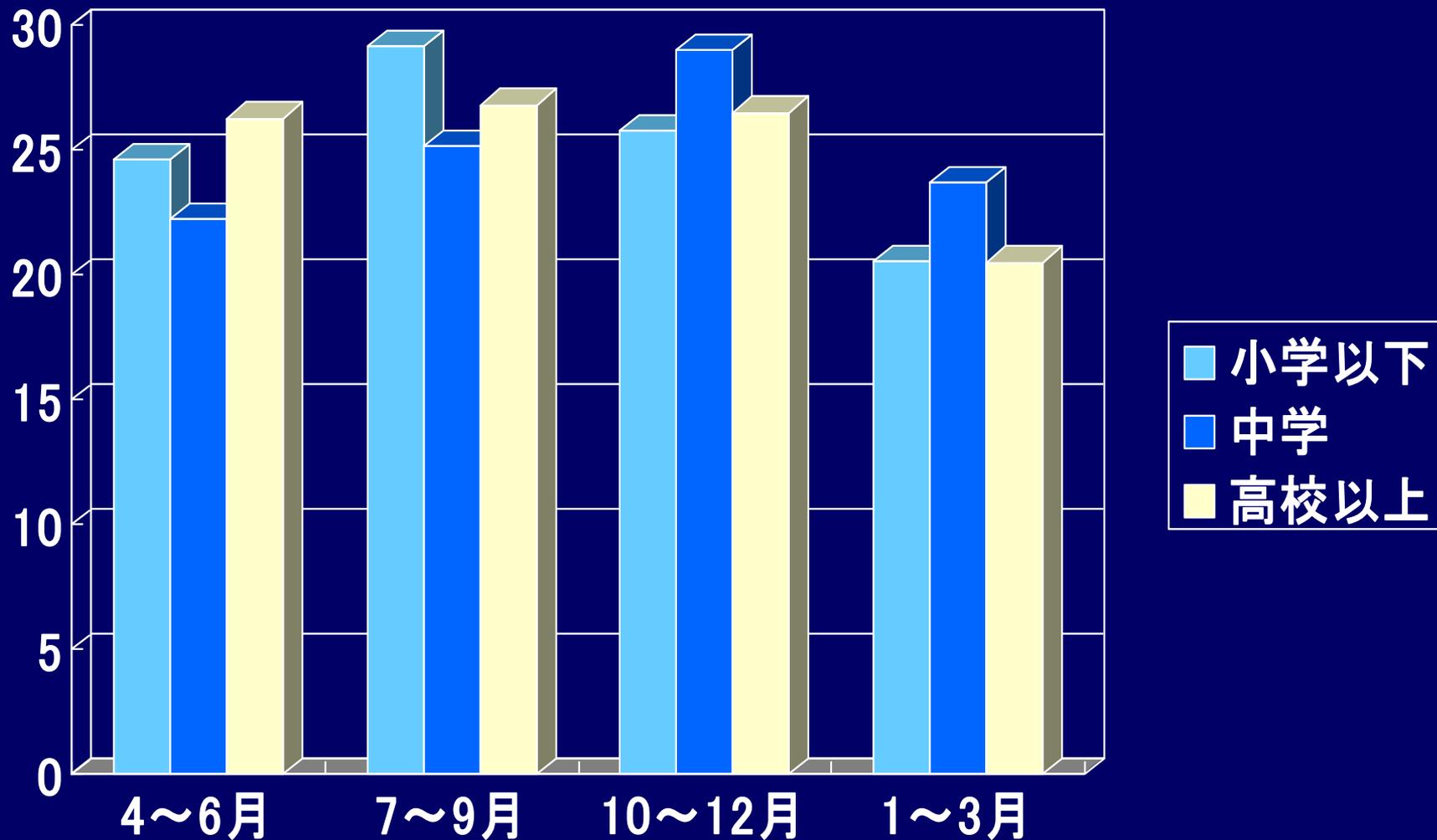
- ソフトテニスは、小学生から、中学生に上がると、**23.6倍**に増加
しかし、トップ選手の競技開始年齢は、小学生以下からが、**約9割**
多くの競技スポーツのトップアスリートは、小学生以下から
競技開始が当たり前

- 08トップリーグ選手競技開始年齢(日本出生) 545人
小学生以下 200人 中学生 135人 高校生以降 210人
36.7% **24.8%** **38.5%**

※ ラグビーを小学生以下から競技開始した子ども達は、中・高校から
競技開始した子に負ける??
※ ラグビーの育成に問題があるの??

08トップリーグ選手 競技開始年齢別月別出生数表

(545人中、小学以下 200人 中学 135人 高校以上 210人)



08トップリーグ選手 545人 ポジションのべ 688人

ポジション\競技開始学年	小学以下	中学	高校以上	合計
PR HO LO	35人	52人	137人	224人
FL NO8	47人	24人	62人	133人
SH SO CTB WTB FB	176人	91人	64人	331人
	258人	167人	263人	688人

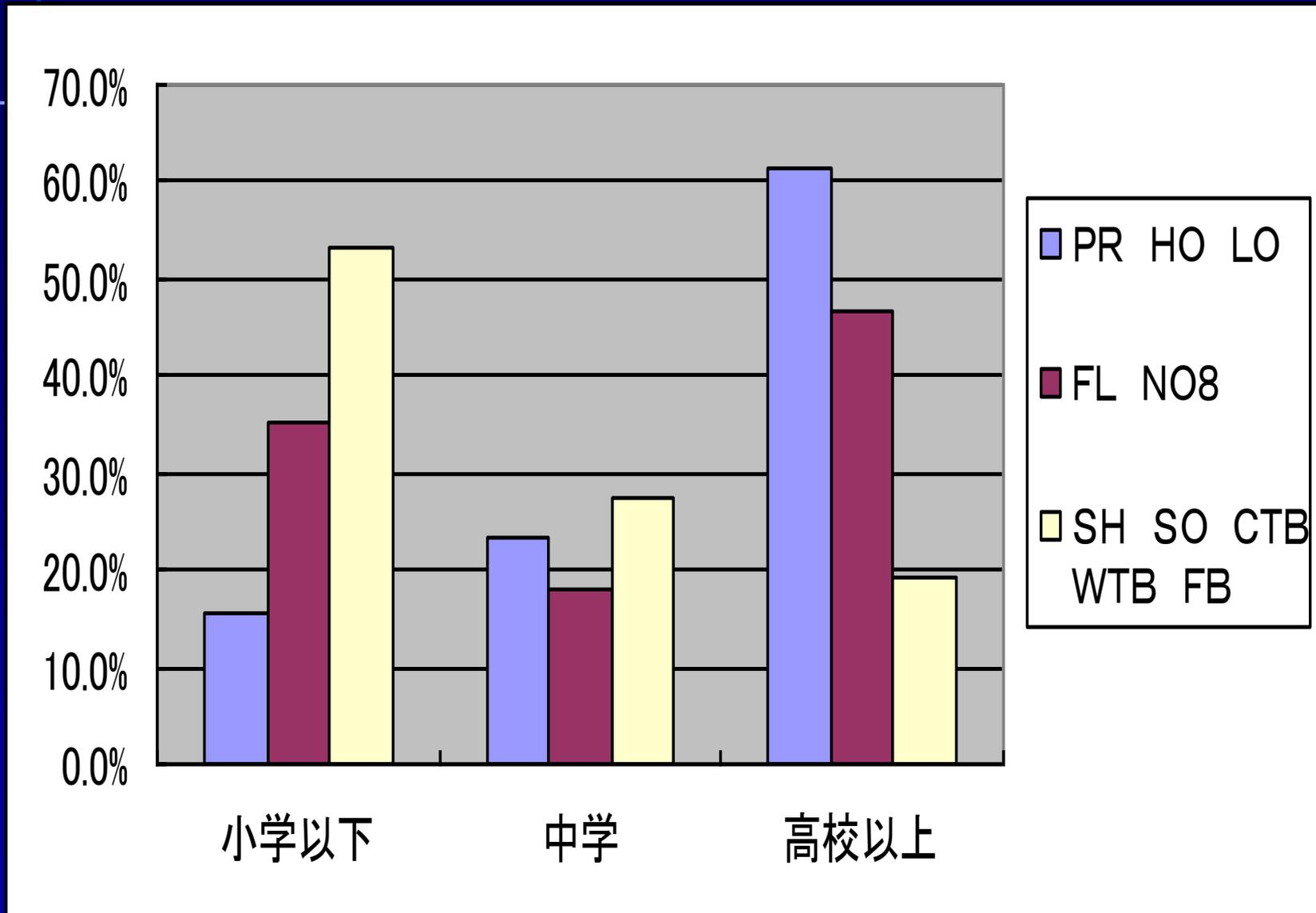
ポジション\競技開始学年	小学以下	中学	高校以上
全ポジション	37.5%	24.3%	38.2%
PR HO LO	15.6%	23.2%	61.2%
FL NO8	35.3%	18.1%	46.6%
SH SO CTB WTB FB	53.2%	27.5%	19.3%

日本ラグビーフットボール協会HP(2008年11月6日現在)

競技開始年齢08ラグビーマガジン10月号別冊より

08トップリーグ選手 545人 ポジションのべ 688人

小学以下 258人(37.5%) 中学 167人(24.3%) 高校以上 263人(38.2%)



2016 日本 × スコットランド(ラグマガ 7月号別冊付録)

		平均(約12.2歳)		
1	畠山健介	PR	7	小2
2	三上正貴	PR	15	高1
3	稲垣啓太	PR	14	中3
4	垣永真之介	PR	6	小1
5	浅原拓真	PR	6	小1
6	具 智元	PR	14	中3
7	堀江翔太	HO	11	小6
8	木津武士	HO	14	中3
9	森 太志	HO	6	小1
10	大野 均	LO	18	大1
11	伊藤鐘史	LO	15	高1
12	宇佐美和彦	LO	15	高1
13	谷田部洸太郎	LO	15	高1
14	小瀧尚弘	LO	15	高1

		平均(約10.4歳)		
15	リーチ マイケル	FL/NO8	5	年長
16	ツイ ヘンドリック	FL/NO8	14	中3
17	山本浩輝	FL/NO8	15	高1
18	安藤泰洋	FL	6	小1
19	金 正奎	FL	12	中1
20	細田佳也	FL	8	小3
21	ホラニ龍コリアシ	NO8	15	高1
22	アマナキ・レレイ・マフィ	NO8	5	年長
23	堀江恭佑	FL/NO8	14	中3

		平均(約9.2歳)		
24	田中史朗	SH	13	中2
25	内田啓介	SH	7	小2
26	茂野海人	SH	8	小3
27	立川理道	SO/CTB	4	年中
28	田村 優	SO/CTB	15	高1
29	小野晃征	SO	5	年長
30	山中亮平	SO/CTB	13	中2
31	松田力也	SO	6	小1
32	マレ・サウ	CTB	5	年長
33	中村亮土	CTB/SO	15	高1
34	ティム・ベネット	CTB	9	小4
35	パエア ミフィポセチ	CTB/WTB	12	中1
36	カーン・ヘスケス	WTB	5	年長
37	松島幸太郎	WTB/CTB	12	中1
38	児玉健太郎	WTB/FB	6	小1
39	山下 一	WTB/FB	12	中1
40	ホセア・サウマキ	WTB	10	小5
41	五郎丸 歩	FB	3	年小
42	野口竜司	FB	12	中1
43	笹倉康誉	FB/WTB	13	中2

- トップリーグのフロントファイブ(PR HO LO)の選手

6割以上が、高校生から競技開始！！

- 小学生以下から競技開始

トップリーグのフロントファイブ(PR HO LO)の選手

約15.6%

小学生からラグビーを始めた選手は、フォワード(スラム)が嫌い??
ミニラグビーの競技規則に、フォワード(スクラム)は、必要??

『子どものスポーツと才能教育』 宮下充正

トレーニングが筋力の向上に及ぼす影響については、20歳を過ぎてから

ミニラグビー競技規則 & タッチフット

2008 11 30 生駒少年ラグビークラブ	5分間 高学年		
ミニラグビー競技規則			
	スタート	パス	パスフェイント
5人制	7回	※14回	1回
7人制	6回	※14回	2回
9人制	7回	※10回	1回
タッチフット			
	スタート	パス	パスフェイント
4人制	18回	36回	12回
5人制	18回	39回	7回
6人制	18回	38回	14回
7人制	22回	37回	11回
ミニラグビー競技規則	6.67回	12.67回	1.33回
タッチフット	19.0回	37.5回	11.0回
	2.85倍	2.96倍	8.25倍
※ ミニラグビー競技規則では、ボールに触る機会が少ない パスフェイントは、タッチフットが、8倍以上！！			

子どもに、適応した問題はどっち？

A問題

下記の問題を解きなさい

(1) 4×3

(3) 5×8

(2) 1×5

(4) 7×2

B問題

下記の問題を解きなさい

(1) 40×3

(12) 11×2

(23) 10×8

(2) 12×5

(13) 31×9

(24) 8×9

(3) 25×8

(14) 18×2

(25) 4×20

(4) 7×11

(15) 21×44

(26) 6×7

(5) 8×6

(16) 4×12

(27) 17×2

(6) 3×40

(17) 11×13

(28) 21×4

(7) 5×19

(18) 13×4

(29) 10×14

(8) 6×6

(19) 11×15

(30) 5×30

(9) 9×13

(20) 3×5

(31) 8×6

(10) 11×8

(21) 8×2

(32) 12×4

(11) 21×7

(22) 4×17

(33) 2×25

- サッカーの練習では、10分間のリフティングで、

1,000回以上、ボールタッチする子もいる！！

- 2時間のサッカーの練習では、何回になるのだろうか？？

- それに比べて、ラグビーは？？

2時間の練習で、30回以下の事もあった！！ **100倍**も違う！！
どっちが子ども達にとって、得なの？？

- ミニラグビーの競技規則(5分間)で、パスが平均 12.67回

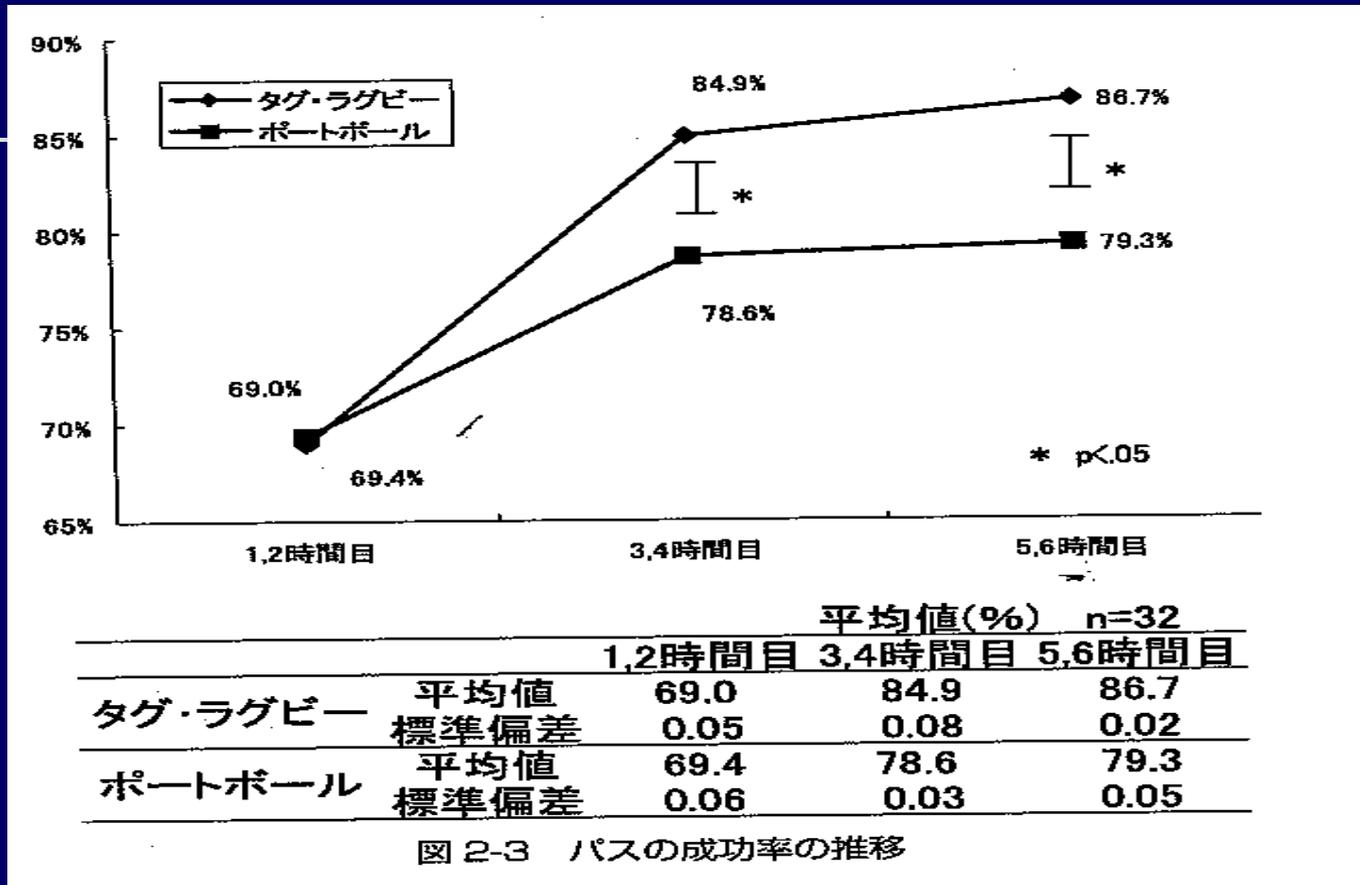
タッチフット(5分間)で、パスが平均 37.5回 **約2.96倍**

タックルが無い事で、パスフェイントは、タッチフットが **約8.25倍**

A問題 or B問題 あなたなら、どちらの問題集を、子どもに与えますか？？

「だれでもできるタグラグビー」

(財)日本ラグビーフットボール協会・監修 鈴木



P78 ボールを持ったら走るだけ

P98 スローフォワードは難しくない

P123 タグラグビーのパス動作はやさしい

子どものラグビーに タックル・スクラムは必要？

- オーストラリアにおいて多くのクラブで、
7～8歳のカテゴリーでは、タックルなどのコンタクトをしない
9～10歳 スクラムなどのボールの争奪は行わない
「子どもの発育とコーチング」中井俊行
- ニュージーランド バーンサイドクラブ(小野晃征)
タックルは10歳を過ぎてから(ラグビークリニックVol.26より)
- ニュージーランド ワイカト・ハミルトン地区では、
U6～13 5～8月(7月の冬休み2週間を除く)
平日に練習(週1回) 土曜日(午前中)に試合(13試合)
「NZにおけるジュニア(少年)ラグビーのシステムと運営」西尾ほか

各国 子どもの競技規則

日本ラグビーフットボール協会



JAPAN

	U6	U7	U8	U9	U10	U11	U12
人数	U7/U8の競技規則を参照	5		7		9	
フィールド		40×28		60×35		60×40	
コンタクト		フルタックル					
時間		10×2		15×2		20×2	
ボール		3		3or4		4	



New Zealand

	U6	U7	U8	U9	U10	U11	U12	U13
人数	7	7	10	10	10	15	15	15
フィールド	20×12		22×45	60×30	60×35	フル	フル	フル
コンタクト	タグor腰をホールド			フルタックル				
時間	20×2		25×2	25×2	25×2	25×2	30×2	30×2
ボール	2.5or3		3	3	3	3	4	4



Australia

	U6	U7	U8	U9	U10	U11	U12
人数	7		7	10	12	12	15
フィールド	4分の1		ハーフ	ハーフ	フル・サイドは10mレス		フル
コンタクト	タグ		フルタックル				
時間(分)	10×2	10×2	15×2	20×2	20×2	20×2	25×2
ボール	2	2	3	3	4	4	4



England

	U6	U7	U8	U9	U10	U11	U12
人数	4	4	6	7	8	9	12
フィールド	規定なし	20×12	22×45	60×30	60×35	ハーフ	ハーフ
コンタクト	タグ	タグ	タグ	腰にホールド	フルタックル		
ブレイクダウン					AT キャリア +1	AT キャリア +2	ノーマル
					DF タックラー +1	DF タックラー +2	
時間	10×2	10×2	10×2	15×2	15×2	不明	
ボール	3	3	3	3	4	4	4

指示待ち症候群について

● 指示待ち症候群

命令口調で指示される刺激を繰り返し受けていると、自分の考えでは行動できない子どもになってしまいます

- ★ 犬の実験で、メロノームの音を鳴らして餌を与えることを繰り返すうちに、メロノームの音を聞いただけで、唾液が分泌されようになった(パブロフ)
- ★ 長期にわたり、抵抗や回避の困難なストレスと抑圧の下に置かれた犬は、その状況から「何をしても意味がない」ということを学習し、回避できる状況に変えても、逃れようとする努力すら行わなくなることを学習性無力感(セリグマン)
- ★ 高接触スポーツによる身体的な指示待ち症候群
パスフェイントは、タックルの無い タッチフットが、8倍以上！！

U-12 ミニラグビーの競技規則

- 5人制 低学年用(小学校 1・2年、U-7~8)
 - ・ 各チーム1名の**コーチがグラウンドに入る**ことが許される
ゲーム中、グラウンドに入ることを許されたコーチは、
自軍の最後尾のプレーヤーより後方で留まり、
プレーヤーに対して建設的な**指示・助言**を行える
 - ・ 試合中、コーチは定められた区域内に位置し、
プレーヤーに対して建設的な**指示・助言**を行える
- 7人制 中学年用(小学校 3・4年、U-9~10)
 - ・ 試合中、コーチは定められた区域内に位置し、
プレーヤーに対して建設的な**指示・助言**を行える
- 9人制 高学年用(小学校 5・6年、U-11~12)
 - ・ 試合中、コーチは定められた区域内に位置し、
プレーヤーに対して建設的な**指示・助言**を行える

● U-12 ミニラグビーの競技規則

5人制 低学年用(小学校 1・2年 U-7~8)

各チーム1名のコーチがグラウンドに入る事が許される

建設的な指示・助言を行える

★ 指示しやすい環境が整っている??

指示待ち症候群の温床??

7人制 中学年用(小学校 3・4年 U-9~10)

9人制 高学年用(小学校 5・6年 U-11~12)

建設的な指示・助言を行える

★ 子ども達が、自ら考える事ができない?? **なぜ??**

08トップリーグ選手 都道府県別 年代別 比率

		0~14歳人口	選手数	比率	小学以下		中学生		高校以降	
1位	佐賀	12.9万人	24	0.53	5	20.8%	0	0.0%	19	79.2%
2位	長崎	20.9万人	26	0.80	16	61.5%	3	11.5%	7	26.9%
3位	秋田	13.8万人	16	0.86	10	62.5%	0	0.0%	6	37.5%
4位	京都	34.8万人	39	0.89	12	30.8%	25	64.1%	2	5.1%
5位	山梨	12.5万人	13	0.96	2	15.4%	4	30.8%	7	53.8%
6位	福岡	70.2万人	68	1.03	48	70.6%	14	20.6%	6	8.8%
7位	宮崎	16.5万人	13	1.26	5	38.5%	1	7.7%	7	53.8%
8位	大分	16.3万人	12	1.35	4	33.3%	2	16.7%	6	50.0%
9位	大阪	121.8万人	80	1.52	30	37.5%	44	55.0%	6	7.5%
10位	熊本	26.1万人	16	1.63	4	25.0%	1	6.3%	11	68.8%
11位	岩手	18.5万人	11	1.68	1	9.1%	5	45.5%	5	45.5%
12位	奈良	19.4万人	10	1.94	6	60.0%	1	10.0%	3	30.0%
13位	鹿児島	24.8万人	11	2.25	1	9.1%	1	9.1%	9	81.8%
14位	青森	19.2万人	7	2.74	0	0.0%	0	0.0%	7	100.0%
15位	宮城	32.3万人	10	3.23	7	70.0%	0	0.0%	3	30.0%

22位	滋賀	21.3万人	4	5.32	3	75.0%	1	25.0%	0	0.0%
27位	兵庫	79.0万人	11	7.18	3	27.3%	3	27.3%	5	45.5%

08トップリーグ

	0~14歳 人口	小学 以下	中学生	高校生 以降	総計
愛知県	107.9	4	2	9	15
愛媛県	19.6	1	1	1	3
茨城県	41.6	0	3	5	8
岡山県	27.4	1	2	2	5
沖縄県	25.1	0	0	2	2
岩手県	18.5	1	5	5	11
岐阜県	30.2	0	0	2	2
宮崎県	16.5	5	1	7	13
宮城県	32.3	7	0	3	10
京都府	34.8	12	25	2	39
熊本県	26.1	4	1	11	16
群馬県	28.8	3	0	3	6
広島県	40.1	2	0	3	5
香川県	13.8	0	0	1	1
佐賀県	12.9	5	0	19	24
埼玉県	98.3	2	9	12	23
三重県	26.4	0	0	4	4
山形県	16.2	0	0	1	1
山口県	19.3	1	0	0	1
山梨県	12.5	2	4	7	13
滋賀県	21.3	3	1	0	4
鹿児島県	24.8	1	1	9	11

秋田県	13.8	10	0	6	16
新潟県	32.3	0	0	5	5
神奈川県	119.3	9	3	14	26
青森県	19.2	0	0	7	7
静岡県	53.0	1	1	1	3
千葉県	82.0	5	0	6	11
大阪府	121.8	30	44	6	80
大分県	16.3	4	2	6	12
長崎県	20.9	16	3	7	26
島根県	9.8	0	0	1	1
東京都	146.7	12	9	15	36
徳島県	10.4	0	0	1	1
栃木県	28.2	2	0	4	6
奈良県	19.4	6	1	3	10
富山県	14.8	0	0	1	1
福岡県	70.2	48	14	6	68
福島県	30.1	0	0	3	3
兵庫県	79.0	3	3	5	11
北海道	70.4	0	0	5	5
石川	16.4	0	0	0	0
福井	11.9	0	0	0	0
長野	31.0	0	0	0	0
和歌山	13.9	0	0	0	0
高知	10.0	0	0	0	0
鳥取	8.3	0	0	0	0
	1743.5	200	135	210	545

- 都道府県別 0～14歳人口に対して
何人のラグビートップリーガーが、誕生しているか??

- ★ 強化の為には、小学生からラグビーを始めた選手の
割合が高い事が必要だ!!

長崎・秋田・福岡が高め、
トップリーガー誕生の割合も高め!!

関西圏内の小学生からラグビーを始めた

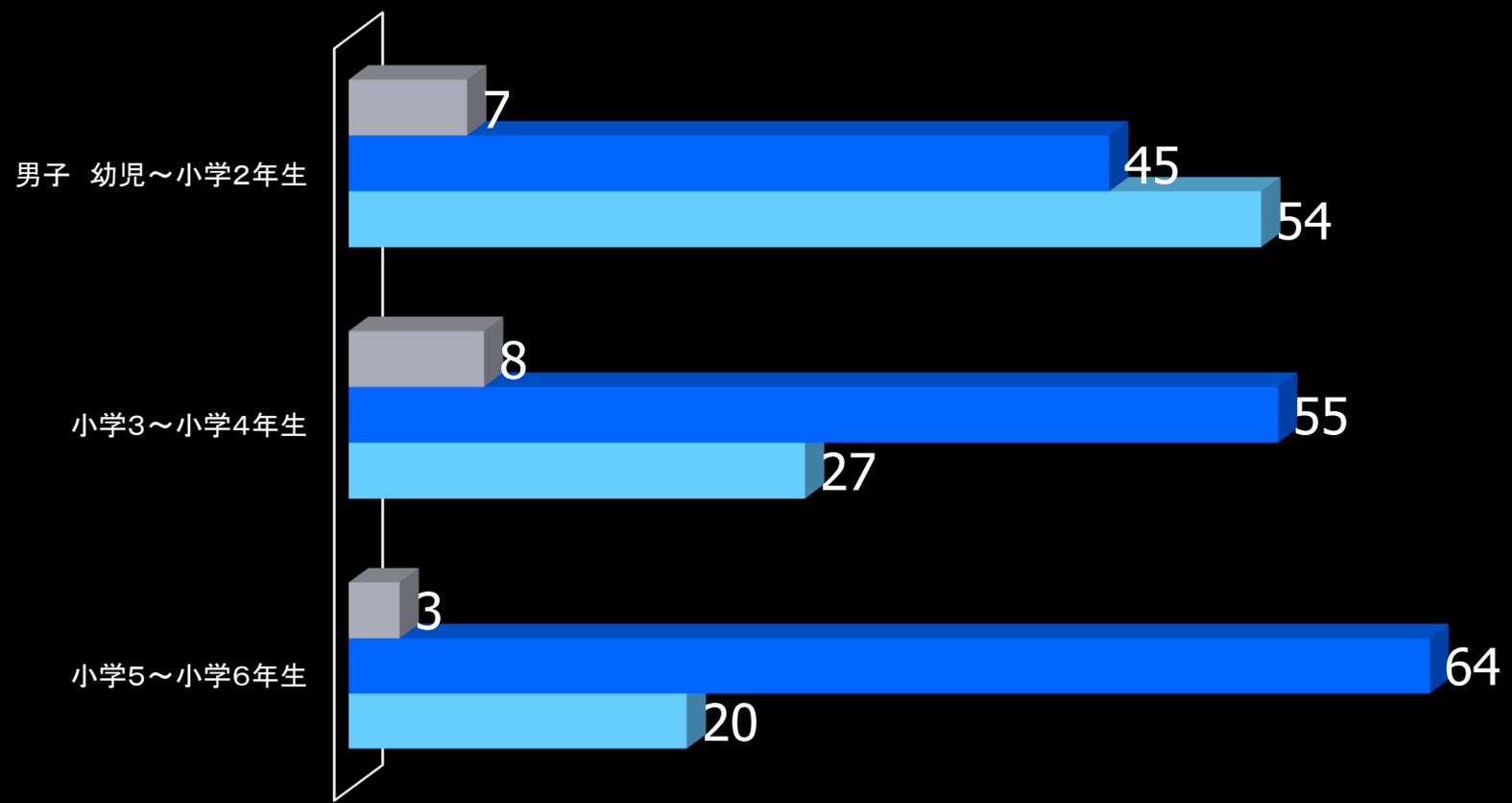
子ども達は、トップリーガーになる割合が**低い**!!

- ★ いまの小学生の育成に問題があるの??

奈良県ラグビーフットボール協会 普及育成委員会(2010年春)
アンケート調査集計 男子 幼児～小学2年生 106人
小学3～小学4年生 90人
小学5～小学6年生 87人

○、じぶんは、ラグビーが、うまいとおもう？

■ 3、無記載 ■ 2、おもわない ■ 1、おもう



日本ラグビー強化の為に

ミニラグビーの競技規則が

変わる必要がある！！

ラグビーの素質に応じた成長に向けた育成システム

ラグビーの素質に応じた成長に向けた育成システム

- スクラム無し ○ 後ろのコーチ無し ○ レフリー無し
- コンタクト無し ○ 指示の声無し(タッチラインウォーカー禁止)
- オフサイド推奨(オフサイドを積極的に)
- バイモードシステム(前半・後半、違う競技規則)
- バイカラーシステム(1球 → 2球 → 3球へ)(5~9人制)
- チャレンジトライ(2点) ディフェンス裏へのキック
- 3match2win 4match3win ○ コイントス リフティング
- タグラグビーと同じ競技規則
- 1人1球(1にボール、2にボール、3・4もボールで、5にボール)
- ハーフ&ハーフシステム
- ダイヤモンド30(釣鐘式育成システム)
- ピックアップ(選抜・飛び級)フォローアップ(補習)
- 素質主義(地域・家庭・経済・成長差などに関係なく)
- お山の大将システム(井の中の蛙システム)
- さしすせそシステム(子どもの累進的な成長を促進 育成システム)
- 吹奏楽コンクールシステム

いつも、子どもから

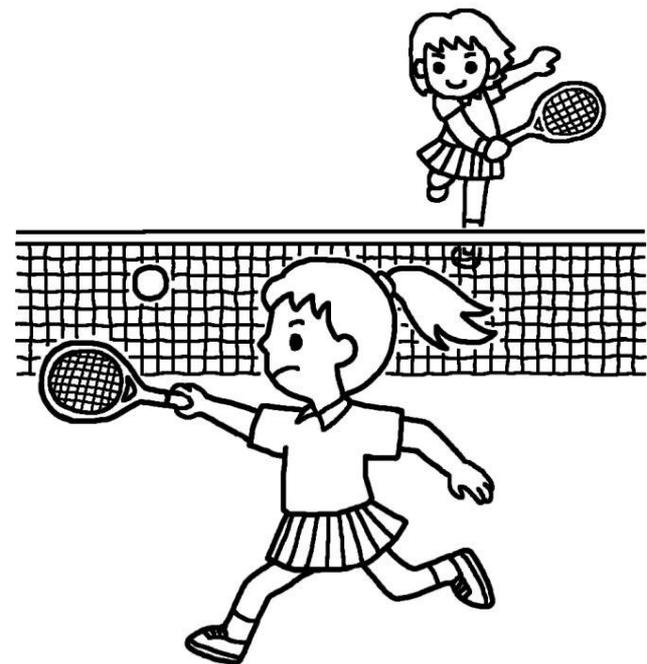


子ども達に
ラグビーを



「2017日本ラグビー学会第10回大会」

発育発達 : 子どもの育成について



終わり

生駒少年ラグビークラブ

桑田 大輔

yuui@m5.kcn.ne.jp